

東京大学 海外留学・国際交流プログラム報告書(3ヶ月以上1年未満用)

The University of Tokyo Study Abroad/Student Exchange Program Report Form (for programs from one semester to a year)

記入日/Date: 2025/6/2

■ID: A24103

■参加プログラム/Program: 全学交換留学

■プログラム情報/Program info.: <https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/go-global/ja/program-list-USTER.html>

■派遣先大学/Host university: ビクトリア大学

■留学期間/Program period (yyyy/mm/dd): 2024/9/4 ~ 2025/4/25

■東京大学での所属学部・研究科等/Faculty/Graduate School at UTokyo: 経済学部

■学年(留学開始時)/Year at the time of study abroad: 学部3年

■留学を決めるまでの経緯/How and why did you decide to study abroad?:

大学入学前から留学したいという強い思いがあった。1年次にサマープログラムに参加し、それが楽しかったので長期留学への挑戦を確定させた。留学自体に迷いはなかったが、当初は留学後に1年卒業が遅れることに対して不安があった。ただ、過去の留学経験者の声などを聞くうちに躊躇なく2セメスターの留学を決意した。

留学の時期について/About the timing of the study abroad period

■留学前の本学での修学状況/Academic status BEFORE the program:

2024 / 学部3 / S2

■留学中の学籍/Academic Status during the studying abroad/program:

留学

■留学後の本学での修学状況/Academic status ON RETURN:

2025 / 学部3 / S2

■留学にあたってこの時期を選んだ理由/Reason for choosing this period to study abroad:

進振りや卒論のことなどを考えると、卒業および就活を1年延期するという前提で、3Aからの留学がもっとも大学生活に支障が少ないと考えたため。また、半年だと短いという思いが強かったため、2セメスターの留学は迷いなく選んだ。

学習・研究について/About study and research

■留学先で履修した授業科目と単位数の詳細/Subjects taken and credits earned:

ECON308 Economics and the Law / 1.50

ECON339 Economics of the Family / 1.50

SOCI206 Crime and Deviance / 1.50

SPAN250A Intermediate Spanish I / 1.50

ECON318 Health Economics / 1.50

ECON381 Environmental Economics I / 1.50

POLI388 Politics of Sports / 1.50

SPAN250B Intermediate Spanish II / 1.50

■ 留学中の学習・研究の概要/Overview of the study/research during study abroad :

授業によるが、東大の授業に比べて普段の授業外学習の時間がかかなり重視されていると感じた。期末試験以外にも中間試験や課題・小テストが多く、決して楽とは言えない。ただ、そのおかげで内容がこまめに定着している感覚は嬉しかった。授業は少人数講義も多く、ディスカッションの時間がある授業も多かった。一授業の時間が 50 分 or 80 分と短いのも印象的で、集中しやすいのがとても良かった。

■ 留学先での 1 学期あたりの履修科目数と履修単位数/Number of subjects registered per semester and credits earned per semester :

4～6 / 1～10 以上

■ 1 週間あたりの学習・研究に費やした時間/Hours spent for study/research per week :

6～10 時間/hours

■ 学習・研究以外の活動で取り組んだもの/Activities you took part in other than study/research :

スポーツ, 文化活動

■ 学習・研究以外の活動で取り組んだものの内容、または取り組まなかった理由/Details of the activities you chose, or the reason why you did not take part in any activity other than study/research :

2セメスター通して、ギター、バドミントンのクラブで活動した。秋セメスターのクラブミートアップ的なイベントで知り、入会した。ともに公式には週1回ほどの活動で、負担は小さく友人もたくさんできたので趣味として楽しむことができた。さらに、週1回チームでリーグ戦を戦う intramural という Uvic の制度を使って、サッカー(キャプテンを務めた)とバスケのチームにも所属した。レベルは高いが、セレクションなどもなく誰でも迎えらる雰囲気でも楽しかった。

■ 週末や長期休暇の過ごし方/How did you spend the weekends and vacations? :

週末はスポーツに勤しみ、残った時間で勉強をしたり友人と遊びに行ったり、時には自分を休ませる時間にしてりと有意義に過ごすよう努めた。長期休暇は基本的に旅行に行くことが多く、カナダ国内の他の都市やアメリカ、春には中南米の国に旅行するなど日本からは行きにくい色々な国に精力的に訪れることを意識していた。

派遣先大学の環境について/About environment at the host institution

■ 設備/Facilities :

- ・図書館: 混雑していることが多いが、とても快適。フロアごとに分けられ、メインフロアが静か過ぎないの
が良い。
- ・スポーツ施設: CARSA と呼ばれる施設があり、体育館は無料で使用可能。メンバーシップを買えばジム
も利用可能で、個人的にはお気に入りの場所の一つだった。
- ・食堂: コスパが悪いのであまり評判は良くないが、たまに利用していた。
- ・PC・Wifi 環境: キャンパス全体(寮を含む)で Uvic の Wifi と eduroam が使えるので、不便を感じるこ
とはあまりなかった。

■ サポート体制/Support for students :

あまり利用したことはないが、かなり充実している。最初のオリエンテーションで大量に案内されるので、躊躇せず必要だと感じたら使い倒した方がいいと思う。

プログラム期間中の生活について/About life during the program

■ 宿泊先の種類/Type of accommodation :
学生寮
■ 宿泊先の様子、どのように見つけたか/Environment around the accommodation and how did you find it :
オンキャンパスの学生寮 (cluster housing) で、4 人で暮らす。それぞれ個室があり、キッチン・リビング・シャワー・トイレなどは 4 人の共有スペースとなっている。家具や調理の機械 (電子レンジ、オーブン、冷蔵庫など) は最低限問題なく揃っているが、調理に関しては食器や調理器具は備え付けがないので、自分たちで持ってくる/買う必要がある。自分の場合は、カナダ出身のルームメイトが調理器具を持ってきたので新たに買い足したものは少量で済んだ。大学から案内されたオンキャンパスの寮で、主に料金を重視して選んだ。他人との共同生活によほどの抵抗がなければおすすめ。
■ 気候、大学周辺の様子、交通機関、食事等/Climate, environment around the institution, transportation, food, etc. :
9 月と春 (3 月～) はとても過ごしやすい気温で、概して晴れの日が多い。日本に比べると肌寒いが、凍えるような寒さではない。10 月ごろから 2 月にかけては、いわゆる雨季で残念ながら雨の日が多いと言われているが、自分のときはそこまでひどくはなかった。ただ、青空が見えたらとても幸福を感じるくらい曇天続きのときもあったので、趣味を見つけるなどメンタルケアは大事だと思う。冬はカナダのなかでは温暖な方で、氷点下になることはほぼない。そのかわり、朝から晩まで気温があまり変わらず 3～6 度でずっと寒い、という感じ。ただ、特別高級な防寒着などなくても生きていける。大学周辺は、徒歩圏内は高級住宅街があり、15 分ほど歩くとビーチが出てくるすごくのどかな空間。好みは分かれるが、自然豊かであり逆にいえば何もない。UVic にバスターミナルがあり、ここからビクトリアのあらゆる場所にバスが出ているので比較的便利か。ビクトリアの交通機関は、バス or Uber (タクシー) という感じで普段の生活はバスで不自由を感じることは少ない。ただ、ハイキングやちょっとした遠出には車が必須。食事は物価高の影響もあり、頻繁に外食にいくと財布に優しくないなので基本的には簡単な自炊をしていた。東京やバンクーバーに比べると店の数も少ないが、大学からバスで 30 分圏内にいたい外食で行くような店があるので不便というほどではない。食事の内容は、自炊すれば大きな不満はないと思うが、周りの日本人 (特に女性) の留学生は食事が合わず苦しんでいる人も多かった。
■ お金の管理方法、現地の通貨事情/Management of money and situation about local economy :
現地で RBC という銀行で口座を開いた。料金もかからず手続きはそこまで難しくなかった。現地口座があるとデビット、クレジットカード、銀行送金 (カナダでは主流) などが使えるので、2 セメスター留学の人は必ず作った方がいい。口座開設前および現地口座にお金を送金するときは、Wise を利用した。Wise で支払いを行いたいときは、フィジカルカードが必要なので日本であらかじめ作っていった方がいい。現金が必要な場面は少ない (バスの 1 day pass くらい)。ただ、持っていて損はないので多少は行く前に両替していくと安心かもしれない。
■ 治安、医療関係事情、心身の健康管理で気をつけたこと等、危機管理/Aspects of risk and safety management, local health care system, and any actions taken to maintain your health :
概ね良し。複数人いれば夜遅くに出歩いても危険を感じる場面は多くない。ただし、ダウントウンにはホームレスや薬物中毒者の方の溜まり場になっている場所もあるので、基本的に危害を加えてくることはないが気をつけたい。医療事情は残念ながらよくない。病院に行っても長時間待たされることが多く、多くの場合そこでは解決せず別日にまた来いと言われるなどといったことになる。体調を崩さないのが一番だが、万が一のときは現地の人や留学経験者にアドバイスを仰ぎつつ、保険会社に真っ先に連絡をして対

応を考えるとよい。自分は現地で大怪我を経験し、保険会社が紹介してくれた病院に行った。メンタルケアという意味では、自分は誰かと一緒にいる時間が極端に少ない（あるいは逆に多すぎる）とストレスになるので、積極的に外に出て誰かと話したり遊んだりする時間を作る一方で、趣味などに没頭する 1 人の時間も大事にした。無理をしすぎず、自分の本音を吐露できる友人を 1 人でも現地に作っておくのが大事だと思う。

留学前の準備・手続きについて / About preparations and procedures before studying abroad

■ 留学先への入学手続き / Procedures for enrollment required by the host institution :

パスポートや Application Form など、提出する書類は膨大。同じ大学に留学した友人や過去に留学していた先輩と連絡を取り合いながら、わからないことはすぐに派遣先大学に問い合わせることで遅滞なく対応できた。

■ ビザの手続き / Procedures to obtain visas :

派遣先大学から受け入れ許可通知が来てまもなく申請した。カナダは留学生の数を近年削減しているので、早めにアプライし、しばらく進捗がない場合は先方に連絡を入れると良い。

■ 医療関係の準備 / Preparations or actions taken to maintain your health :

個人的に経過観察で年一回検査を受けているものがあるので、留学直前にその検査を行った。薬はよく使う頭痛薬や胃腸薬、酔い止めなどをたくさん持って行った。予防接種は渡航先によると思う。カナダは基本的に新たに受ける必要はないが、例えば休暇中などに他国に渡航する場合、中南米などでは特別な予防接種が推奨（あるいは義務づけ）されているところもあるので、そのつもりがあれば調べておいた方がよい。

■ 保険関係の準備 / Preparations/procedures for insurance :

東大に指定される保険に加入する。こちらは指示通りに手続きを進めれば問題ない。現地の大学あるいは自治体指定の保険もあるので、そちらは渡航経験者や現地の大学のスタッフなどに聞いて準備を進めるといい。

■ 東京大学の所属学部・研究科（教育部）での手続き / Procedures required by faculties or graduate schools at UTokyo :

ゼミの単位分割、履修予定科目の申告など。意外とややこしいので、早めに疑問は解消しておくといよい。

■ 語学関係の準備 / Language preparation :

英語はもともとある程度はできる方だったが、渡航の半年前から外国人向けのツアーガイドのアルバイトをはじめたり、東大にいる USTEP 生と積極的に交流をすることで会話の実践を積んだ。単語などは現地での生活で習得できると思うが、強いて言えば自分はリスニングでかなり苦しんだので、事前に勉強をするなら海外ドラマ・映画やポッドキャストなどで「生」の英語を聞き取る練習を行うとよいかもしれない。ただ、100% できるようになるのは不可能なのでそこまでプレッシャーを感じる必要はない。

費用・奨学金に関すること / About expenses and scholarships to participate in studying abroad

■ 参加するために要した費用 / Expenses of participation :

航空費 / Airfare	300,000 円 / JPY
派遣先への支払い（授業料・施設利用料など） / Payment to host institution (tuition, facilities fee, etc.)	0 円 / JPY
教科書代・書籍代 / Textbook / Book	10,000 円 / JPY
海外留学保険料（東京大学指定のもの） / Overseas travel	72,030 円 / JPY

insurance fee (designated by UTokyo)	
保険・社会保障料(留学先で必要だったもの)/Insurance and/or social security (required by host institution/region/country)	45,000 円/JPY
■その他、補足等/Additional comments:	

■留学先での毎月の生活費/Monthly cost of living during the study abroad period:	
家賃/Rent	110,000 円/JPY
食費/Food	50,000 円/JPY
交通費/Transportation	2,000 円/JPY
娯楽費/Entertainment/Leisure	30,000 円/JPY
■その他、補足等/Additional comments:	
旅行に行った月はかなり跳ね上がる	

■留学のための奨学金の受給有無/Scholarships for study abroad:	
受給した	
■奨学金の支給機関・団体名等/Name of the source of the scholarships:	
JASSO	
■受給金額(月額)/Monthly stipend:	
80,000 円	
■受給金額についての補足等/Additional comments about the monthly stipend:	
渡航支援金 130000 円月額は最後の一ヶ月は 110000 円になった+途中で支援金+90000 円が支払われた	
■奨学金をどのように見つけたか/How did you find the scholarships?:	
大学(本部)からの紹介	

今後の予定について/About your future plans

■留学先で履修した授業科目のうち、単位認定申請をする(予定のもの)/The subjects for which you plan to (are planning to) transfer credit to UTokyo:	
ECON308 Economics and the Law / 1.50 ECON339 Economics of the Family / 1.50 ECON318 Health Economics / 1.50 ECON381 Environmental Economics I / 1.50 POLI388 Politics of Sports / 1.50	
■留学前に取得済みの単位数/Number of credits earned at UTokyo BEFORE your study abroad:	
42 単位/credit(s)	
■留学先で取得し、単位認定申請を行う(予定の)単位数/Number of credits earned and (planned to be) transferred to UTokyo:	
7.5 単位/credit(s)	
■これから本学で取得予定の単位数/Number of (expected) credits to be earned on return:	

38 単位/credit(s)

■ 卒業/修了予定/(Expected) year/month of graduation (yyyy/mm) :

2027 年 3 月

留学を振り返って/Reflection

■ 留学の意義、その他所感/Impact of the study abroad experience on yourself or your thoughts :

日本に、東大にいただけでは出会えない人に出会えること。そして、全てを自分でやらねばいけない環境のなかで、自分にできること・できないことを知ることになり、自分のなかに眠っている潜在能力を引き出すきっかけにもなると思うから。

■ 今後のキャリアに対する考え方や就職活動に与えた影響/Impact of the program on your thoughts for a career or job hunting :

まだ本格的に就活を始めていないので詳しい影響はわからない。ただ、今までは「絶対に海外で働きたい」という思いが強かったのが、留学を経てむしろ「日本に貢献したい」という気持ちが大きくなった。それが「海外では働きたくない」ということではないし、依然海外で働くことへの憧れはあるが、1年間の海外生活を経て日本という国に対して以前よりポジティブな感情が増し、日本がよりよい場所になるような仕事がしたいと思うようになった。また、事実としては1年の留学により、卒業を1年遅らせて 27 卒にすることを決めた。そのため、留学中に就活を本気でやることはなく、最後の2ヶ月くらいで勉強や旅行の合間に少しずつ情報収集をした。ただし、自分はあくまで留学を楽しむことを優先した。

■ 留学による今後のキャリア・就職活動へのメリット・デメリット/Merit/Demerit of studying abroad on your future career/job hunting :

そこに価値があるかはさておき、事実として「留学経験のある人」がそうでない人より就活において重宝されやすい傾向があるのは感じている。また、1 年卒業を遅らせるとしたら、(1 年分の授業料と引き換えに)自分のキャリアや今後の人生について余裕を持って考える時間が増えるのは大きなメリットだと思う。少なくともデメリットはないと思う。

■ 留学中に行った就職活動/Job hunting activities during study abroad :

派遣先大学での就職活動イベントに参加した、留学先から日本の新卒採用・インターンシップなどに応募・受験した

■ 進路・就職先(就職希望先)/Career/Occupation (planned) :

公的機関, 民間企業
詳しくは未定

■ 今後留学を考えている学生へのメッセージ、アドバイス/Any messages or advice for future participants :

交換留学は時間が限られているので、普段の大学生活以上に「どっちをとるか」の選択に幾度となく迫られると思います。「留学する or しない?」「半年 or 1 年?」「留年する or しない?」「現地でバイト or 遊ぶ?」「ヨーロッパに旅行 or カナダを探検?」などなど。その際に、もちろん人によって色々な事情があると思うので一概にどちらが正しいということはないですが、僕は自分が直感でこっちがいい、と思った方を選ぶのがいいと思います。考えれば考えるほど、制約の方が頭を縛ってしまう。どうにかなる、といったら無責任かもしれませんが、どうにかする覚悟で、自分の直感を信じて選択をしていくことが留学を最大限により良いものにする秘訣だと思います。何も後悔が残らないことはないと思いますが、少なくともその選択を自分がしたんだ、って自信を持って言えるように過ごせるといいんじゃないかなと思います!

■ 準備段階や留学中に役に立ったウェブサイト、出版物/Websites or publications which were useful while preparing

for or during your time overseas :

大学公式の YouTube、留学経験者の Note

東京大学 海外留学・国際交流プログラム報告書(3ヶ月以上1年未満用)

The University of Tokyo Study Abroad/Student Exchange Program Report Form (for programs from one semester to a year)

記入日/Date: 2025/5/27

■ID: A24105

■参加プログラム/Program: 全学交換留学

■プログラム情報/Program info.: <https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/go-global/ja/program-list-USTER.html>

■派遣先大学/Host university: ビクトリア大学

■留学期間/Program period (yyyy/mm/dd): 2024/9/4 ~ 2025/4/25

■東京大学での所属学部・研究科等/Faculty/Graduate School at UTokyo: 教養学部教養学科

■学年(留学開始時)/Year at the time of study abroad: 学部3年

■留学を決めるまでの経緯/How and why did you decide to study abroad?:

高校の時から留学をすると決めていたので、最も費用が安い全学交換留学に応募した。

留学の時期について/About the timing of the study abroad period

■留学前の本学での修学状況/Academic status BEFORE the program:

2024 / 学部3 / S2

■留学中の学籍/Academic Status during the studying abroad/program:

留学

■留学後の本学での修学状況/Academic status ON RETURN:

2024 / 学部3 / A1

■留学にあたってこの時期を選んだ理由/Reason for choosing this period to study abroad:

進学選択と就職活動の時期を考慮した上で最も適切な時期だったから

学習・研究について/About study and research

■留学先で履修した授業科目と単位数の詳細/Subjects taken and credits earned:

Introduction to film analysis 1.5

Popular film and cultural theory 1.5

Responsibilities and reciprocity in the place you are now 1.5

Intensive upper intermediate Spanish 3

Philosophy and film 1.5

Latin America through contemporary film 1.5

Hispanic literature 1.5

Intensive advanced Spanish 3

■留学中の学習・研究の概要/Overview of the study/research during study abroad:

週ごとの課題が多い印象。論文をあらかじめ読んだりワークシートを埋めたりと予習にかなり時間が割かれた。

■ 留学先での 1 学期あたりの履修科目数と履修単位数/Number of subjects registered per semester and credits earned per semester:
4~6 / 1~10 以上
■ 1 週間あたりの学習・研究に費やした時間/Hours spent for study/research per week:
1~5 時間/hours
■ 学習・研究以外の活動で取り組んだもの/Activities you took part in other than study/research:
取り組んでいない
■ 学習・研究以外の活動で取り組んだものの内容、または取り組まなかった理由/Details of the activities you chose, or the reason why you did not take part in any activity other than study/research:
飲食店でアルバイトをしたがすぐに辞めた。
■ 週末や長期休暇の過ごし方/How did you spend the weekends and vacations?:
留学先や東大の友人と国内外を幅広く旅行をした。バンクーバーは近いので週末旅行を何回かした。

派遣先大学の環境について/About environment at the host institution

■ 設備/Facilities:
Wifi 完備、図書館は広い、ジムは年会費が高い。
■ サポート体制/Support for students:
探せばきちんとある印象だった。どんな人でも必ずコミュニティを見つけられるくらいたくさんのコミュニティがある。

プログラム期間中の生活について/About life during the program

■ 宿泊先の種類/Type of accommodation:
学生寮、アパートなどの賃貸
■ 宿泊先の様子、どのように見つけたか/Environment around the accommodation and how did you find it:
前期は学生寮、後期はシェアハウスをインターネットで探して入居した。

■ 気候、大学周辺の様子、交通機関、食事等/Climate, environment around the institution, transportation, food, etc.:
学校に付属の食堂は美味しくないし高い。食費がは全体的にかさむので自炊すべき。気候は冬季は雨が多かった。雪はあまり降らないが降ると交通機関が麻痺する。
■ お金の管理方法、現地の通貨事情/Management of money and situation about local economy:
クレジットカードを使用
■ 治安、医療関係事情、心身の健康管理で気をつけたこと等、危機管理/Aspects of risk and safety management, local health care system, and any actions taken to maintain your health:
ホームレスが多い場所のみ避けて歩くようにしていた。病院は受診までに時間がかかるらしいので市販の薬を持っていくと良いと思う。

留学前の準備・手続きについて/About preparations and procedures before studying abroad

■ 留学先への入学手続き/Procedures for enrollment required by the host institution:
大学から指示が来た通りに行く。期日になっても受け入れ書が来なかったため問い合わせをしたところ、システムエラーが起こっていたので何かおかしいと思ったら受け入れ校に連絡すべき。

■ビザの手続き/Procedures to obtain visas :
申請に手間がかかる。バイオメトリクスを取りに行かなければならず、オフィスの営業時間が短い。また、余裕を持って申請したにも関わらず渡航直前までビザが降りなかったため、大使館に問い合わせをしたところ、その数日後に降りた。おかしいと思ったら早めに対処すべき。
■医療関係の準備/Preparations or actions taken to maintain your health :
特になし
■保険関係の準備/Preparations/procedures for insurance :
特になし
■東京大学の所属学部・研究科(教育部)での手続き/Procedures required by faculties or graduate schools at UTokyo :
コース長の先生に許可をもらう
■語学関係の準備/Language preparation :
特になし

費用・奨学金に関すること/About expenses and scholarships to participate in studying abroad

■参加するために要した費用/Expenses of participation :	
航空費/Airfare	350,000 円/JPY
派遣先への支払い(授業料・施設利用料など)/Payment to host institution (tuition, facilities fee, etc.)	0 円/JPY
教科書代・書籍代/Textbook / Book	6,000 円/JPY
海外留学保険料(東京大学指定のもの)/Overseas travel insurance fee (designated by UTokyo)	72,030 円/JPY
保険・社会保障料(留学先で必要だったもの)/Insurance and/or social security (required by host institution/region/country)	0 円/JPY
■その他、補足等/Additional comments :	

■留学先での毎月の生活費/Monthly cost of living during the study abroad period :	
家賃/Rent	100,000 円/JPY
食費/Food	50,000 円/JPY
交通費/Transportation	4,500 円/JPY
娯楽費/Entertainment/Leisure	2,000 円/JPY
■その他、補足等/Additional comments :	

■留学のための奨学金の受給有無/Scholarships for study abroad :	
受給した	
■奨学金の支給機関・団体名等/Name of the source of the scholarships :	
JASSO	
■受給金額(月額)/Monthly stipend :	
80,000 円	

■受給金額についての補足等/Additional comments about the monthly stipend:
2025 年 2 月分より 90000 円
■奨学金をどのように見つけたか/How did you find the scholarships?:
大学(本部)からの紹介

今後の予定について/About your future plans

■留学先で履修した授業科目のうち、単位認定申請をする(予定の)もの/The subjects for which you plan to (are planning to) transfer credit to UTokyo:
Introduction to film analysis 1.5 Popular film and cultural theory 1.5 Intensive upper intermediate Spanish 3 Philosophy and film 1.5 Latin America through contemporary film 1.5 Hispanic literature 1.5 Intensive advanced Spanish 3
■留学前に取得済みの単位数/Number of credits earned at UTokyo BEFORE your study abroad:
42 単位/credit(s)
■留学先で取得し、単位認定申請を行う(予定の)単位数/Number of credits earned and (planned to be) transferred to UTokyo:
14 単位/credit(s)
■これから本学で取得予定の単位数/Number of (expected) credits to be earned on return:
20 単位/credit(s)
■卒業/修了予定/(Expected) year/month of graduation (yyyy/mm):
2027 年 3 月

留学を振り返って/Reflection

■留学の意義、その他所感/Impact of the study abroad experience on yourself or your thoughts:
自分一人で行ったこと(学業・引越し・バイト・旅行等)が多くて自立性を高められたことが収穫だった。自分の語学力に自信を持てるようになった。
■今後のキャリアに対する考え方や就職活動に与えた影響/Impact of the program on your thoughts for a career or job hunting:
外資の会社に行くという選択肢が完全になくなった。海外でのみ働く・生活することは自分にはできないと実感した。
■留学による今後のキャリア・就職活動へのメリット・デメリット/Merit/Demerit of studying abroad on your future career/job hunting:
語学力はメリットになる。デメリットとしては、他の留学経験者との差別化が難しいところ。
■留学中に行った就職活動/Job hunting activities during study abroad:
いずれも行っていない
■進路・就職先(就職希望先)/Career/Occupation (planned):
民間企業

■ 今後留学を考えている学生へのメッセージ、アドバイス/Any messages or advice for future participants :

必ず意義のあるものになると思います。あまり気負いすぎず、他と比べすぎないことが大切です。

■ 準備段階や留学中に役に立ったウェブサイト、出版物/Websites or publications which were useful while preparing for or during your time overseas :

なし